

身近な自然を

親子一緒に楽しんでほしい



▲身近な野草を味わった春の観察会

但東 野あそびくらぶ いつなっと

にしがき ゆかこ  
代表 西垣 由佳子さん

但東町在住。2007年に夫の故郷である但東町に移住。「但東 野あそびくらぶ いつなっと」の五感を使った自然観察会や体験活動は人気となり、常に定員を超える申込みがある。NACS-J自然観察指導員、豊岡市環境審議会副会長、生物多様性地域戦略の策定委員も務める。



いつなっとFacebook▶



子どもたちが安心して自然を体験できる機会を増やしたいと、2021年に「但東野あそびくらぶ いつなっと」を立ち上げました。

山や川で遊んだ経験の少ない子どもたちに、自然の面白さや昔から但馬に伝わってきた暮らしの知恵や文化を伝えたいと考えたのがきっかけです。

2カ月に一度、但東町で親子を対象とした自然観察会や体験活動を行っています。自然観察会では、参加した子どもたちと一緒に、親世代も楽しみ、学んでいる場面にも出会いました。スタツフは10人。私たち自身も常々、学びながら取り組んでいます。また、地域の方々に助けていただくことも多く、但東の人の温かさを感じながら、活動してきました。

一見、豊かに見える但馬の自然ですが、その実、さまざまな危機に瀕しています。自然を知ること、体験することで興味を持ち、好きになつてもらい、但馬の自然を守ることもつながっていくよう、これからも活動を続けていきたいと考えています。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—

平成16年台風23号20年メモリアル「防災への思い」高校生がラジオドキュメントを発表



台風23号20年メモリアル「防災への思い」が10月5日、市民プラザで行われました。当日は、川上紗季さん(近畿大学附属豊岡高校3年・放送部部长)が「10月20日を忘れない」と題し、ラジオドキュメント発表を行いました。当作品は、被災当時の教諭・生徒の経験談や同世代へのインタビューを交えて制作され、第71回NHK杯全国高校放送コンテストで制作奨励賞を受賞しました。川上さんは「10月20日は、この水害を知らない世代にとっても忘れない日にしていきたい」と話しました。

小学生から書の道へ 読売書法展で念願の大賞を受賞



第40回となる読売書法展で、日高町の岸本聖城(本名:英之)さんが大賞を受賞しました。受賞の連絡は、今年は残念ながら諦めかけていた時であり「準大賞ではなく大賞受賞?」と、とても驚いたそうです。岸本さんは、2019年に準大賞を受賞しています。現在は、作品作りの傍ら後進育成にも力を注いでおり「命尽きるまで納得のできる作品を作り続けるとともに、私の書を見て、書に興味を持ってくれる方が増えると嬉しいです」と話しました。

豊岡市 SNS LINE X Facebook Instagram 各施設・事業の SNS

※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。